

ハンドル形電動車椅子の JIS 改正

- ハンドル形電動車椅子の安全性の向上を目指して -

平成28年5月20日

ハンドル形電動車椅子の日本工業規格(JIS T9208)について、使用者の意図しない操作を防ぐなどのリスクマネジメント関連規定を追加するなど、利用者の特性を考慮した安全規定を見直しました。また、ハンドル形電動車椅子のユーザーの多くが高齢者ですが、高齢者の体格の向上に合わせ高さの規定を見直しました。

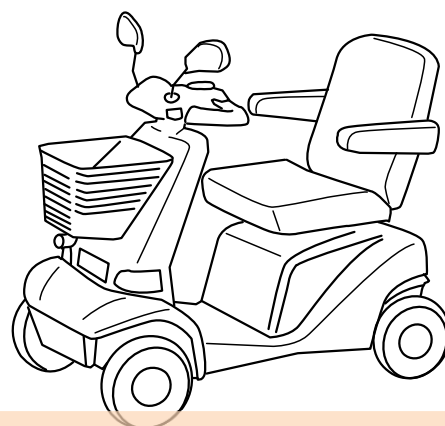
1. JIS 改正の目的

前進、転回などの操作をハンドル操作で行う「ハンドル形電動車椅子(以下「電動車椅子」という。)」の規格の改正を行いました。今回の改正では、

使用者の意図しない操作を防ぐ規定

電動車椅子の高さを最大1,200mmへ拡大

の2点を中心に規定を見直しました。



出典：JIS T0102:2011 福祉関連機器用語 [支援機器部門]

2. JIS 改正の主なポイント

使用者が意図せず操作レバーに触れて電動車椅子が動き出す可能性への対応

電動車椅子の停車中に使用者が気づかぬうちに操作レバーに触れて動き出す可能性があるため、「乗降時及び停車中」に意図せず操作レバーに触れることを考慮するリスクマネジメント設計へと変更しました。

電動車椅子の高さを最大1,200mmへ拡大

これまでは電動車椅子の全高は1,090mmまでと規定されていましたが、比較的体格の大きな高齢者が使用する際、目視には低すぎる可能性も出てきました。今回の改正では高さをバックミラーを含め1,200mmまでの最大寸法としました。全高を高くしたことで背もたれであるバックサポートの高さも高くなることになり、上体の姿勢保持機能が向上できる利点も期待されます。



<解説>

電動車椅子の元となる JIS が制定された 1977 年から 2013 年の 36 年間で、日本の 70 歳以上の高齢者の平均身長は男女とも約 5cm 以上高くなるなど、体格向上がみられます。

【70 歳以上の高齢者の平均身長の変化】

年	男		女	
	1977	2013	1977	2013
平均身長 (cm)	156.5	162.2	142.7	148.2

出典：厚生労働省「健康日本 2 1 分析評価事業」より抜粋

JISC の HP (<http://www.jisc.go.jp/>) から、「T9208」で JIS 検索すると本文を閲覧できます。

【担当】

経済産業省 産業技術環境局 国際標準課 (03-3501-9277、内線 3423)

(課長)福田 泰和 (担当)加藤 二子

経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室

(室長)土屋 博史 (担当)野邊 裕